



「健康コラム」

病気と予防のお話し ～JCHO 船橋中央病院から～

## 第8回 血尿について

泌尿器科 関田 信之 先生

みなさま、こんにちは。船橋中央病院の泌尿器科からのたよりです。今回は「血尿」についての話題です。健康診断や人間ドックで指摘されることのある血尿は、尿潜血といって字のごとく血が潜んでいますので、見た目には気づきません。そして重大な疾患が見つかる可能性は低いといわれています。一方、見ただ目で色の違いに気づく場合には、肉眼的血尿といいます。肉眼的血尿が見られた場合は、がんや結石など、危険な原因が潜んでいる可能性が高くなります。ご年齢にもよりますが、20-30%の割合で膀胱がんが見つかることされています。血液が一滴でも混じると、尿は真っ赤になります。しかし、気づくのはご自身だけになりますので、最も行けない行動は「気のせい」として放置してしまうことです。気のせいや疲れでは血尿にはなりません。また、気合だけでは治らない病気もたくさんあります。おかしいなと感じたら、なるべく早く医療機関で相談されることをお勧めいたします。